

佐世保市のおいしい水道水

昭和60年に、当時の厚生省（現在の厚生労働省）は、「おいしい水研究会」を設置して、水に含まれる成分から「おいしい水」の条件を示しました。

佐世保市の水道水は、残留塩素が若干高く、遊離炭酸が少ないものの、有機物は低く、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分を適度に含んでおり、厚生労働省が示している「おいしい水」の条件をほぼ満たしており、安全でおいしい水と言えます。

なお、一般的には、「水温が低い」「適度のミネラルを含む」「異臭味がしない」ときに、おいしく感じるといわれています。

佐世保市の水道水（令和4年度毎月定期試験及び水質管理目標設定項目試験の給水栓の平均値）

水質項目 (単位)	佐世保地区 (山の田、柚木、 広田)	吉井・世知原・ 小佐々・宇久・ 江迎・鹿町	公営 簡易水道	おいしい 水の指標	水道 水質基準	説明
蒸発残留物 (mg/L)	78	138	133	30~200 mg/L	500 mg/L 以下	主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦味・渋味等が増し。適度に含まれているとコクのあるまろやかな味がする。
硬度 (mg/L)	37	64	67	10~100 mg/L	300mg/L 以下	カルシウム、マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水は癖がなく、高いと好き嫌いがでる。 カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦味が増す。
遊離炭酸 (mg/L)	2.6	2.4	—	3~30 mg/L	—	水にさわやかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。 (佐世保地区、鹿町北部・潜竜浄水場のみで年1回測定)
過マンガン酸カリウム消費量 (mg/L)	0.6	0.4	0.2 未満	3 mg/L 以下	3mg/L 以下 (TOCの基準)	有機物量を示し、多量に含むと塩素の消費量に影響して、苦味がつくなど水の味を損なう。※過マンガン酸カリウム消費量は現在の基準項目に含まれないため有機物(TOC)の値を記載
臭気強度	異常なし	異常なし	異常なし	3以下	異常なし	水源の状況により、様々なにおいがつくると不快な味がする。
残留塩素 (mg/L)	0.6	0.5	0.5	0.4 mg/L 以下	0.1 mg/L 以上	濃度が高いとカルキ臭を強く感じる。
水温(℃)	18.1	19.2	18.1	最高 20℃ 以下	—	夏に水温が高くなると、おいしくないと感じられる。 冷やすことによりおいしく飲める。

カルキ臭が気になる場合は、冷蔵庫などで冷やすとカルキ臭を感じにくくなります。その他にレモン汁をたらすと、レモン汁の中のビタミンC（L-アスコルビン酸）が塩素を消費します。また水道水を沸騰させても塩素を消費させることができます。（塩素を消した水は消毒の力がなくなるので早めに使い切ってください。）